

総合科学による 古代エジプト調査研究 支援事業

御支援のお願い



現在、名古屋大学では、約4500年前に築かれたギザの大ピラミッドに関する、世界最高水準の3D計測データを保有しています。これは、河江肖剰教授（考古学）と多分野の研究者が連携する「オープンイノベーション・プロジェクト」により、世界初となるドローンによる3D計測調査が実施され、貴重なデータが得られました。

古代エジプトの古王国時代（紀元前2592年～ 2120年頃）は、ピラミッドに象徴される巨大王墓の建造が特徴であり、70基を超えるピラミッドが造られました。しかしながら、これらの建造方法はいまだ明確には解明されておらず、多くの点で仮説の域を出ておりません。

本調査研究では、この古代世界最大の謎とも言えるピラミッドの構造と建造技術の解明を目指し、取得した3Dデータをもとに総合科学的なアプローチによる分析を進めています。さらに、古王国時代に築かれた他の巨石建造物の計測や周辺の発掘調査を実施し、建造技術の変遷を通史的に明らかにすることを目指します。あわせて、物質文化資料や文字資料などの考古学的データと統合し、多面的かつ定量的に当時の社会の変容を読み解いていきます。

このような研究を継続・発展させ、世界最高水準のオープンイノベーション拠点として、人類史上きわめて重要な文化遺産であるピラミッドの謎に挑み続けるためには、研究資材の確保、現地での継続的な調査、国内外の優秀な研究者との連携、さらには民間企業との協働体制の構築など、安定した資金基盤の整備が不可欠です。

しかしながら、現在の国の研究資金制度は、現代社会の課題に直結する応用研究や基礎科学を優先しており、古代遺跡の研究、特に本研究のような分野横断的な新たな試みには、十分な資金が配分されていないのが実情です。

人文系に対する助成は、他分野に比べて著しく限定的であり、大規模なオープンイノベーション型の研究を進めるには、十分な資金的基盤が整っていません。

そこで本学では、この調査研究を広く社会からご支援いただくことを目的に、「総合科学による 古代エジプト調査研究 支援事業」を設立する運びとなりました。

本基金の趣旨にご理解とご賛同を賜り、ぜひとも格別のご支援をお願い申し上げます。



支出範囲(使途)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| (1) 現場調査の継続的実施や研究資材の確保 | (3) 若手研究者や学生の育成 |
| (2) 研究技術者の確保 | (4) 民間企業との共同研究ならびに業務委託（随意契約） |

ご寄附の申し込み方法

ご寄附は以下の方法からお願い致します。
いずれの場合も「特定基金：総合科学による古代エジプト調査研究支援事業」
をご指定願います。

1 銀行・郵便局で振込用紙による方法：

下記のお問い合わせまでご連絡いただければ、振込用紙を送付させていただきます。

2 クレジットカード、インターネットバンキング、ATM、コンビニによる方法：

名古屋大学特定基金のHPからお申し込みください
(<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/menu/project>)



* 税法上の優遇措置につきましては、名古屋大学基金の「税法上の優遇措置」の
ページをご覧ください (<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/honoring/exemption>)



寄附をいただいた方への特典

名古屋大学基金の寄附者顕彰（感謝状、芳名録、銘板等）に加えて、
プロジェクト独自に以下の特典を提供致します。

全ての寄附者様

- ・メールマガジンの配布（年に1回程度）。

10万円以上 の寄附者様

- ・プロジェクト・オリジナルTシャツ贈与。
- ・オンライン講演等（一部）への無料参加。

100万円以上 の寄附者様

- ・プロジェクト・オリジナルTシャツ贈与。
- ・オンライン講演等（一部）への無料参加。
- ・全国出張講演（*講師の旅費の費用は別途ご負担下さい）。

お問い合わせ先

名古屋大学Development Office（DO室）

Tel: 052-789-4993

e-mail: do@kikin.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

Tel: 052-789-2369

e-mail: dhss-jimu@t.mail.nagoya-u.ac.jp